

1. 授業の概要(ねらい)

この「環境経済学Ⅱ」では、多様な環境問題について、とくに「パリ協定」と「SDGs(持続可能な開発目標)」に焦点を当てながら、具体的な事例を取り上げて、分かりやすく解説します。「SDGs」の考え方を学び、「持続可能な開発とは何か、そのようなことは実際に可能か」について多角度から考えていきたいと思いをします。

2. 授業の到達目標

環境問題は自分たちの未来に直結する問題であることを、様々な事例を通じて理解していきます。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(20%)、レポートの提出(30%)、最終期末試験(50%)として、総合的に評価します。講義中に参考文献や準備学習の課題等についても指示します。また、出席を重視します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

栗山浩一/馬奈木俊介 環境経済学をつかむ 有斐閣

5. 準備学習の内容

講義中に指示する参考文献、配布するプリント等をよく読むこと。

6. その他履修上の注意事項

出席率や授業中での参加度を重視します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 環境の歴史①
- 【第3回】 環境の歴史②
- 【第4回】 現代社会が抱える様々な環境問題①
- 【第5回】 現代社会が抱える様々な環境問題②
- 【第6回】 現代社会が抱える様々な環境問題③
- 【第7回】 現代社会が抱える様々な環境問題④
- 【第8回】 中間のまとめ
- 【第9回】 環境問題に対する新しい取り組み①
- 【第10回】 環境問題に対する新しい取り組み①
- 【第11回】 環境問題に対する新しい取り組み①
- 【第12回】 環境問題に対する新しい取り組み①
- 【第13回】 環境問題を自分の問題として考える①
- 【第14回】 環境問題を自分の問題として考える②
- 【第15回】 総括・まとめ